

放課後等デイサービス

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	tutti		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2025年 12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2025年 12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の中に、利用者の保護者が2名いるので、様々な場面で保護者目線保護者の立場で物事を考え進めていくことができる。	可能な限り、保護者の思いを聞いて要望に応えるようにしている。	送迎時等に話ができるよう人配に気をつけている。
2	離職率が低いので利用者、保護者に対して継続したケアが提供できている。	スタッフ同士が思いやりを持ち理他愛の心を忘れない。	常に会社の理念を念頭において従事する。
3	スタッフがお互いの存在を認め合っている。	コミュニケーションを全体で取り合っている。	食事(ランチ会)など集まる機会を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭いため活動場所に制限がある。	物理的に建物が狭い。	移転を含め活動場所の確保を考えながら、今できる活動内容を充実させる。 エアコン・加湿器の定期的な清掃を実施してもらい効率よくする
2	建物が脆弱で外気温の影響を受け、暑いさむいが利用者の負担になる。	床、外壁が薄い。	エアコン・加湿器の定期的な清掃を実施してもらい効率良くする。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 tutti

公表日 2026年 2月 1日

利用児童数 14 回収数 9

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	1	室内に入ることがないのでわかりません。見学する機会があればよいと思います。	いつでも見学可能です。来所が難しい方々のためにブログや通信で様子を発信します。
	2 職員の数配置は適切だと思いますか。	7	0	0	2	室内に入ることがないのでわかりません。見学する機会があればよいと思います。	いつでも見学可能です。来所が難しい方々のためにブログや通信で様子を発信します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	1	室内に入ることがないのでわかりません。見学する機会があればよいと思います。	いつでも見学可能です。来所が難しい方々のためにブログや通信で様子を発信します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	1	室内に入ることがないのでわかりません。見学する機会があればよいと思います。	いつでも見学可能です。来所が難しい方々のためにブログや通信で様子を発信します。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1	ガイドラインがあることを知らなかったため、目を通しておこうと思います。	計画書をお渡しする際、必要ならあわせてガイドラインもご提示します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	4	3	tutti利用者以外との交流は聞いていない。	可能な取り組みを検討します。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	5	0	研修会は不明	必要な支援を考えていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	7	1	父母の会やきょうだい向けのイベント交流等は無い。	tuttiを通じて保護者同士の連携が深まるような取り組み及び必要な支援を考えていきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	1	0		相談申し入れ苦情などありましたら、ただちに対応いたします。定期的にブログやtutti通信で発信していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	0		今後さらにブログやtutti通信を定期的に発信していきます。ブログやtutti通信で発信し、訓練の様子なども発信していきます。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0			
非常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	1	周知されているものもないものがあると思います。	訓練の様子なども今後さらにブログやtutti通信で発信していきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	1		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0	安全確保は行われているとおもいますが計画の周知は分かりません。	ブログやtutti通信で発信していきます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0	いつもありがとうございます。楽しみにしています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	いつもありがとうございます！	

事業所名	tutti		公表日		2026年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	別室の利用も含め、スペース確保の工夫をしている。	利用者人数、メンバーによって狭く感じる事があるので個々に適した活動内容を考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	利用者の人数や吸引等が必要な場合によってバラスキがあるので、月の勤務予定表で可能な限り調整している。	日によっては看護師の人数が足りない日があるので、スタッフの増員を検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	カーポートがありスロープを設置している。雨天時でもバギー等の搬入出をスムーズに行うことができる。	民家をベースに事業所の設備が作られているので、バリアフリー化等課題がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	建物が古く冷暖房等も大変であるが、可能な限りの快適空間を提供する努力をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3		現時点で個別の部屋や場所を必要とする利用者はいないが、時と場合によっては休憩室の利用等も考える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		第三者による外部評価が適切に行われるような仕組みを考える
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	9	0	制作時等に素材や形状・色と触れ合ってもらい、利用者の目線に合わせて見せたりと工夫している。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	地域の関係機関との連携はほぼできていないが、利用者個々に応じて様々な関係機関と連携している。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4		これまで障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がほほいなかったため、これから考えていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5	相談員との連携はある程度できている。	地域の児童発達支援センターとの連携は限られた利用者のみだったので、今後検討していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		これまで交流したことはないが、チャンスがあればどのようなことができるか考えてみる。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6		東区のこども部会に1～2度参加したが、積極的な参加はできていない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	特別な研修等は行っていないが、情報提供など可能なものは極力行っている。		
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		一部の保護者からの要望もあり父母会の発足、開催を考えてはいるが実行できていない。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0			
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0			
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		感染症対策の観点からも地域の方々を招くのはリスクを感じるので現時点では難しい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		各マニュアルはあるが、ひとつづつについて保護者に周知できていないので、可能な限り発信していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1		すべての利用者に対しての説明については不十分な所があるので考えていきたい。	

児童発達支援

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	tutti			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の中に、利用者の保護者が2名いるので、様々な場面で保護者目線保護者の立場で物事を考え進めていくことができる。	可能な限り、保護者の思いを聞いて要望に応えるようにしている。	送迎時等に話ができるよう人配に気をつけている。
2	離職率が低いので利用者、保護者に対して継続したケアが提供できている。	スタッフ同士が思いやりを持ち理他愛の心を忘れない。	常に会社の理念を念頭において従事する。
3	スタッフがお互いの存在を認め合っている。	コミュニケーションを全体で取り合っている。	食事(ランチ会)など集まる機会を作る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が狭いため活動場所に制限がある。	物理的に建物が狭い。	移転を含め活動場所の確保を考えながら、今できる活動内容を充実させる。
2	建物が脆弱で外気温の影響を受け、暑いさむいが利用者の負担になる。	床、外壁が薄い。	エアコン・加湿器の定期的な清掃を実施してもらい効率良くする。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 tutti

公表日 2026年 2月 1日

利用児童数 3 回収数 1

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1						
	2 職員の数等は適切であると思いますか。	1						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1						
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				1	わが子が利用していた時は他の児童との交流の話を聞いたことがない。	可能な取り組みを検討します。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1	保護者が負担になるような会であれば必要ないと思います。	必要な支援を考えていきます。	
保護者 への 説明	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				1	保護者会等の開催のお知らせが今までありませんでした。	必要な支援を考えていきます。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1						
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動風景や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1						
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1						
	非常 時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1	音階訓練をされているとは思いますが、保護者にはしているという情報が入ってこないのではありません。	ブログやtutti通信で発信していきます。
		24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1	子どもと一緒に定期的に訓練していただくと安心できます。	ブログやtutti通信で発信していきます。
25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		1						
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際等の状況等について説明がされていると思いますか。		1						
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	1						
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	1						
	29 事業所の支援に満足していますか。	1						

事業所名	tutti		公表日		2026年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	別室の利用も含め、スペース確保の工夫をしている。	利用者人数、メンバーによって狭く感じる事があるので個々に適した活動内容を考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	利用者の人数や吸引等が必要な場合によってバリエーションがあるので、月の勤務予定表で可能な限り調整している。	日によっては看護師の人数が足りない日があるので、スタッフの増員を検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	カーポートがありスロープを設置している。雨天時でもバギー等の搬入出をスムーズに行うことができる。	民家をベースに事業所の設備が作られているので、バリアフリー化等課題がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	建物が古く冷暖房等も大変であるが、可能な限りの快適空間を提供する努力をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3		現時点で個別の部屋や場所を必要とする利用者はいないが、時と場合によっては休憩室の利用等も考える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		第三者による外部評価が適切に行われるような仕組みを考える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		地域支援・地域連携の面で不十分である。何ができてか考えていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	担当者を中心に行っている。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	相談員を適しての連携はある程度できている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	ほぼ全ての利用者の情報共有と相互理解が図られている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会なども即会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	5	相談員との連携はある程度できている。	地域の児童発達支援センターとの連携は限られた利用者のみだったので、今後検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		感染症予防の観点から難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	特別な研修等は行っていないが、情報提供など可能なものは尽力行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		一部の保護者からの要望もあり父母会の発足、開催を考えているが実行できていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	6		感染症対策の観点からも地域の方々を招くのはリスクを感じるので現時点では難しい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		各マニュアルはあるが、ひとつづつについて保護者に周知できていないので、可能な限り発信していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		すべての利用者に対しての説明については不十分な所があるので考えていきたい。